

水平採熱方式地中熱利用 ヒートポンプ冷暖房システムに関するセミナー

エネルギー消費量は世界的に見ると今後も大幅に増加すると見込まれており、エネルギー価格の上昇が予想されます。このため、地域にある再生可能エネルギーを最大限に活用し、エネルギー自給率を高めるエネルギーシステムの構築をめざしていく必要があります。再生可能エネルギーのうち地中熱はどこにでもあるエネルギーであり、ヒートポンプの熱源として利用することにより寒冷地である北海道の暖房エネルギーに占める化石燃料の割合を低減できると考えられます。しかしながら、地中熱交換器を埋設する掘削費用は高価であるため、地中熱利用の普及にはそのコストを抑えることが重要です。

本セミナーでは、地中熱交換器を安価に埋設する手法として、地表から 1.5 m 程度までに熱交換器を水平に埋設する方式について、その採熱設計手法や施工事例、評価について技術紹介を行います。併せてヒートポンプメーカーの方々をお招きし、地中熱利用に関する最新のトピックスについて解説して頂きます。設備技術者にとどまらず、行政関係者、エネルギー問題に関心のある皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

………… セミナー次第 …………

主催 (地独) 北海道立総合研究機構、(株) テスク

開催日 平成 28 年 2 月 2 日 (火) 13 時 30 分～16 時 00 分

会場 北海道総合研究プラザ 1 階 セミナー室 (札幌市北区北 19 条西 11 丁目)

プログラム

司会 高橋 徹((地独)北海道立総合研究機構 工業試験場 環境エネルギー部長)

開催挨拶 及川雅稔((地独)北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 企画調整部長) 13 : 30～13 : 35

第一部 水平採熱方式地中熱利用ポンプ冷暖房システムの設計、施工及び評価

1. 水平採熱方式の地中採熱設計 13 : 35～14 : 00

月館 司 ((地独)北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所)

2. 樹脂製柵状熱交換器を用いた住宅用地中熱ヒートポンプシステムの施工 14 : 00～14 : 25

山田 英和 ((株) テスク 特販部)

3. 樹脂製柵状熱交換器を用いた住宅用地中熱ヒートポンプシステムの評価 14 : 25～14 : 50

白土 博康 ((地独)北海道立総合研究機構 工業試験場)

～～ 休憩 ～～

第二部 ヒートポンプメーカーによる地中熱利用に関する最新のトピックス

4.(株)サンポットにおける地中熱ヒートポンプシステムの最新のトピックス 15 : 00～15 : 25

岡本 淳 ((株) サンポット 技術部)

5.(株)コロナにおける地中熱ヒートポンプシステムの最新のトピックス 15 : 25～15 : 50

遠藤 悟 ((株) コロナ 札幌支店)

定員 70 名 **参加費** 無料

申込方法 「地中熱セミナー参加申し込み」と記載し、氏名、勤務先、電話番号を明記のうえ、E-mail、FAX、はがきにて、お申し込みください。

宛先 (地独) 北海道立総合研究機構工業試験場 環境エネルギー部
〒060-0819 札幌市北区北 19 条西 11 丁目 FAX : 011-726-4057

メール : ground@hro.or.jp

※切 平成 28 年 1 月 29 日 (金) 必着